

研究の全体構想

【教 育 目 標】

夢に向かって共に高まる子どもの育成～輝く瞳 明るい笑顔 強い心～

子どもの姿

○かしこく 輝く瞳で 進んで学ぶ子ども
○やさしく 明るい笑顔で 心豊かな子ども
○たくましく 強い心もち 努力する子ども

【研 究 主 題】

主体的に学び、考えを深める子どもの育成

～自己の変容を自覚し、他者との関わりを通して学びを深める子どもの姿を目指して～

・学習指導要領
・中央地区学校教育の重点
・潟上市学校教育の重点

【目指す子ども】

○自己の変容を自覚し、次の学びに生かそうとする子ども
○自分の考えをもち、問題解決に向けて友達と協力し合う子ども

【研究の仮説】

○学びを共有する活動を取り入れ、子どもが学びや変容を自覚するための手立てを工夫することにより、主体的に学び、考えを深める子どもが育つのではないかと。

【昨年度の課題】
・自分の考えの基になる知識・技能の基礎・基本の定着
・学習課題を自分事として考えられる授業づくり
・評価による自己有用感の向上

【研究の重点と内容】

（重点１）学びや変容を自覚し、次の学びにつなげる授業づくり

- ・学習課題やめあての設定の工夫
- ・「考えをもつ」「まとめる」「振り返る」方法、手立て、活動の工夫
- ・評価（自己評価）の工夫→自己肯定感を高める
- ・単元構想の工夫

（重点２）学びを共有し、考えを深める授業づくり

- ・考えの交流、共有、協議、討論する場の工夫
- ・自分の考えを再考する（付け足す、取り入れる、直す、自信をもつ）時間の設定
- ・学びの価値付けの工夫
- ・評価（相互評価）の工夫→自己有用感を高める

【学 び を 支 え る 基 盤】

学級経営 ◇安心して話ができる温かい人間関係づくり

◇基本的な学習習慣

- ・「大豊の子ども 学習のきまり」「学習のあたりまえ」の実践
- ・「きき方・話し方」の活用
- ・「羽城かがやきプラン」の活用
- ・共通実践事項・月目標
- ・ノートの手書き方

◇授業

- ・一人一人に寄り添い、個の力を伸ばす工夫
- ・ユニバーサルデザインの考えを取り入れた「分かる・できる」授業づくり
- ・集中力を鍛える
- ・単元評価問題の活用

◇日常

- ・読書の励行、図書室の計画的な活用
- ・国語辞典、地図帳などの日常的な活用
- ・家庭学習の推奨
- ・話す力、聞く力を鍛える

◇ICTの効果的な活用

- ・一人一台端末の計画的な活用
- ・基本的な操作を習得するための活用
- ・プログラミング的思考を身に付けるための計画的な活用

◇学習環境

- ・教室掲示、板書計画、等

【検 証 の 指 標】

- 意識調査の分析
- 授業中の発言やノート記述
- 授業参加態度の観察記録
- 自己評価や相互評価の活用
- 単元評価問題などの分析
- 全国学力・学習状況調査及び秋田県学習状況調査の通過率